

北海道
大樹町

遊々の森

れきふね

「カムイコタン歴舟の森」

自然観察ガイド




Forest For the
Recreation
POCKET
GUIDE



林野庁
北海道森林管理局



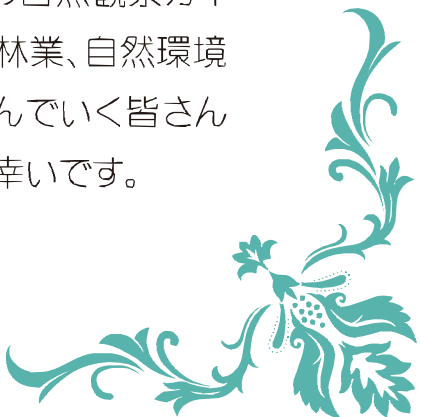
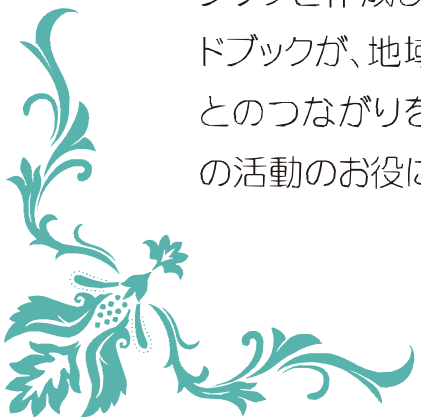

はじめに



多くの野生生物が息づく森林、きれいな水や空気を創り出す森林、人間のみずみずしい感性を揺り動かす森林、その中で、さまざまな体験活動に参加する人が増えています。

国有林では、子どもたちがさまざまな体験活動や学習活動を行えるフィールドを「遊々の森」として提供しており、この「カムイコタン歴舟の森」もその1つです。

北海道森林管理局では、これから体験活動に参加される方、体験活動を指導される方と、「カムイコタン歴舟の森」の橋渡しになりたい思いから、自然観察ガイドブックを作成しました。この自然観察ガイドブックが、地域の森林や林業、自然環境とのつながりを体験し学んでいく皆さんの活動のお役に立てれば幸いです。





1. 大樹町 遊々の森「カムイコタン歴舟の森」は 自然と人がふれあえる森林

- 1-1 遊々の森「カムイコタン歴舟の森」はこんな森です …… 1
- 1-2 地形と地質について …… 3
- 1-3 危険な土砂災害から暮らしを守る大切な治山事業 …… 4

2. 森林の役割ってなんだろう？

- 2-1 生物多様性～森林が育む、地球の生命～ …… 5
- 2-2 森林の持っている機能 …… 7
- 2-3 地球環境と森林 …… 9

3. 地域と林業のかかわり

- 3-1 大樹町の豊かな森を守るためにできること …… 11





4. 国有林でのルールとマナー

4-1 みんなで守ろう森林でのルールとマナー 13

4-2 森林にすむ危険な生物たち 15

5. 遊々の森「カムイコタン歴舟の森」で見られる動植物たち

5-1 遊々の森「カムイコタン歴舟の森」の樹木 17

針葉樹・広葉樹 18~21

木の子供たち(稚樹・幼樹) 22

遊々の森「カムイコタン歴舟の森」の草本など 23

5-2 ほ乳類・は虫類・両生類 25

5-3 鳥 類 27

5-4 昆虫類・水生昆虫類 29

5-5 フィールドサイン 31

6. フィールドマップ 33





1.

大樹町 遊々の森

「カムイコタン歴舟の森」は 自然と人がふれあえる森林

遊々の森「カムイコタン歴舟の森」はこんな森です

遊々の森「カムイコタン歴舟の森」は大樹町の歴舟川のそばにある国有林にあり、大樹町と歴舟川の清流を守る会、十勝西部森林管理署で整備と管理が行われています。この森には一周約2.5キロの遊歩道があり、木々についての説明が書かれた看板を見ながら、森の中を散歩することができます。また、近くのカムイコタン農村公園キャンプ場や歴舟川ではカヌーやつりをして遊べる場所もあり、森と人とがふれあえる自然がひろがるとても豊かな森です。

山の中腹から上はミズナラ、イタヤカエデなどが見られ、山ろく付近にはカツラ、オヒョウなどが見られます。また、約50年生のトドマツの人工林も一部に見られます。稜線沿いに見られるキタゴヨウの分布が特徴的で、ツツジやハクサンシャクナゲなどのツツジの仲間も見られます。歩道沿いや林の中ではカタクリ、エゾオオサクラソウ、フクジュソウなどのきれいな草花も見られます。

この森の面積は220ヘクタールあり、大部分が山崩れなどの災害等に備え、地域に暮らす人々の生活環境を守る保健保安林に指定されていて、そこに暮らす人間や動物たちにとってもとても重要な森になっています。



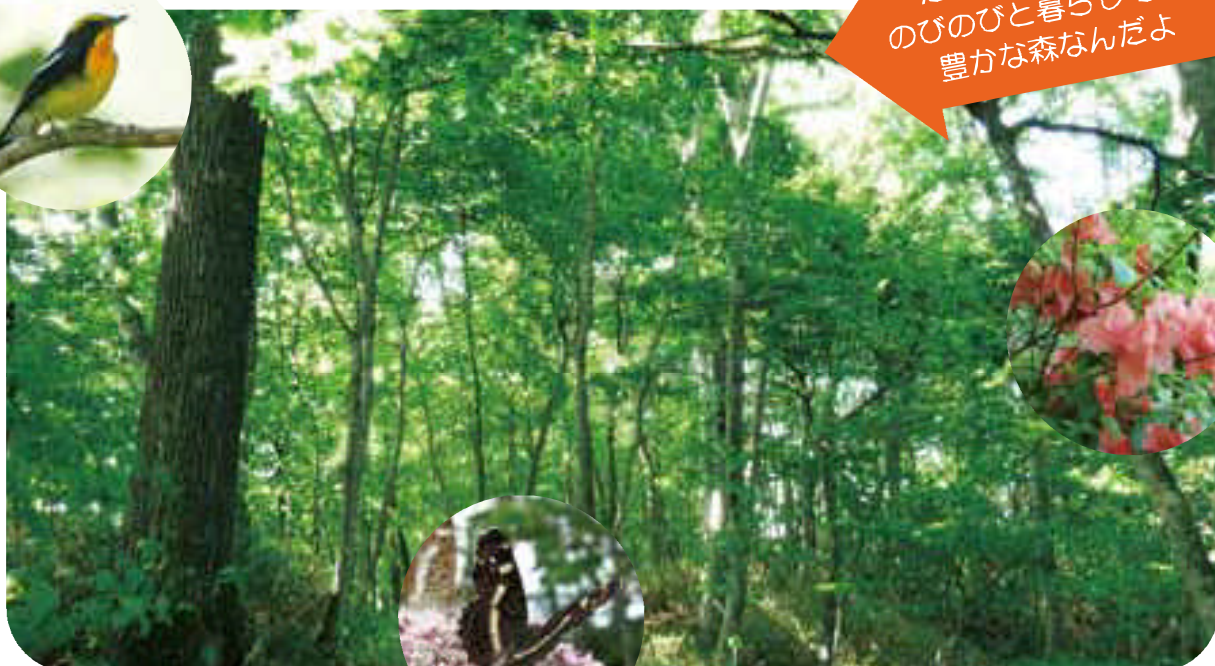
遊々の森「カムイコタン歴舟の森」は 「レクリエーションの森」の しぜんかんさつきょういくりん 自然観察教育林に指定されています。

レクリエーションの森とは？

北海道には約307万ヘクタールの国有林があります(北海道の面積の約40%)。林野庁がこの中から山や湖などと一体になった美しい森林を選び、「レクリエーションの森」として指定し、自然学習・散策やアウトドアスポーツ、レジャーなどに利用されています。「レクリエーションの森」は、自然休養林、風景林、自然観察教育林、ふうちたんしょうりん風致探勝林、森林スポーツ林、野外スポーツ地域の6つの種類にわけられ、このうち遊々の森「カムイコタン歴舟の森」は、自然観察教育林に選ばれています。

自然観察教育林とは？

自然観察教育林は、森林の成り立ちや働き、またそこに住む動植物の生活や自然の中での役割などを学習するために最適な自然環境をもった豊かな森が選ばれます。遊々の森「カムイコタン歴舟の森」は、変化にとんだ自然が見られる森なのです。



たくさんの動植物が
のびのびと暮らしている
豊かな森なんだよ



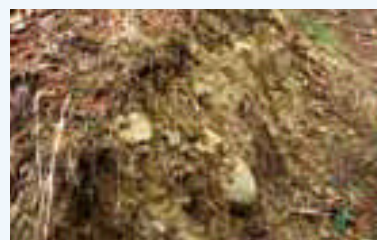


遊々の森「カムイコタン歴舟の森」の地形は？

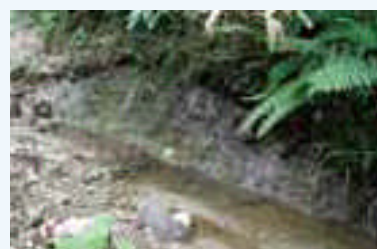
遊々の森「カムイコタン歴舟の森」は、歴舟川のそばにあり、高低差は約200m程度あります。地形は山の稜線を中心に数多くの細い谷が深くまで入り込んでいます。稜線につながる尾根は細く、山の斜面はとても急で昔から山崩れや土砂が流れ出たりしていました。このような土砂災害から人々の暮らしやまわりの地域の環境を守るため、遊々の森「カムイコタン歴舟の森」ではダムをつくるなどの対策を行ってきました。しかし、現在も急な斜面の一部では山崩れが見られ、災害を防ぐための対策が続いています。

遊々の森「カムイコタン歴舟の森」の地質は？

遊々の森「カムイコタン歴舟の森」がある山の地質は、岩のほかに礫（砂より大きい石）や砂、火山灰などが多く含まれていて、斜面の山ろく～中腹は礫や砂などが固まって出来た岩（堆積岩）が分布し、所々で地表に露出しているのが見られます。また、上部に行くにしたがって礫や砂が固まらずに堆積しているのが見られます。これは太古の昔より地面がくりかえし隆起してつくられていったこの土地に、その後から日高山地や北側から流れてきた礫や砂、樽前山、有珠山、恵庭岳などの活発な火山活動によって降った火山灰、火山礫などが積もっていったためと考えられています。

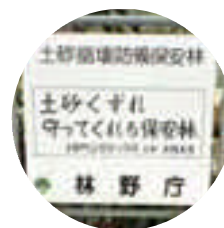


尾根の礫



山ろく付近の堆積岩

危険な土砂災害から暮らしを守る 大切な治山事業



森林や地域の生活環境を守る治山事業の役割

森林には水を蓄えて生命を潤し、山の斜面の土が流れ出るのを防ぐ機能があります。しかし、本来ゆっくりと雨や雪解け水を濾過（こしてきれいにする事）して河川へと流し、そこに住む動植物や人間の生活を支える豊かな自然も、時々おこる集中豪雨などで山崩れや土砂が流れ出すなどの災害をひきおこすことがあります。木々が押し流され、そこに生きる動植物の生活の場が失われることに加え、流出した土砂が民家や道路などに影響を及ぼし、最悪の場合は下流に住む人々の生活を襲う恐ろしい災害に発展するおそれがあります。また、山崩れや土砂が流れ出した場所では、崩れた箇所が拡大したり土砂が流出しやすくなったりして、自然のままでは元通りに戻れなかったり、もしくは非常に長い年月がかかったりします。災害の脅威から人々の暮らしを守り、自然環境が失われるのを防ぐため、ダムや緑化などによって山を治める治山事業をこの森でも行っています。

「大樹治山(たいきちさん)の森」

遊々の森「カムイコタン歴舟の森」では、昭和34年より一帯の人家や農地、自然環境を土砂災害から守るため、ダムや山腹工などによって山を治める治山事業に取り組んでいます。

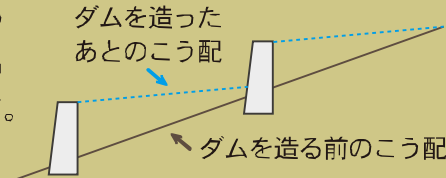
■ 治山ダム



渓流(けいりゅう)から危険な土砂が流れ出るのを防いだりします。

ダムを造ったあとのこう配

ダムを造る前のこう配



■ 山腹工(さんぷくこう)



山崩れの起きた場所(崩壊地)が広がるのを防ぎ、裸地(らち)が植生に覆われるように基盤を整備して緑化します。